

横浜市立横浜総合高校就職ガイダンスで自衛隊をPR



広報官の説明を聞く生徒たち

自衛隊の仕事について話す
所長日比野准陸尉（右）

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、9月22日（金）、横浜市立横浜総合高校（横浜市南区）で開催された就職ガイダンス「第4回 横総未来博」にて募集広報を行なった。

神奈川県内の企業や大学、専門学校などがブースを設け、訪れた生徒たちに職業説明などを行ない、会場は文化祭のように賑わった。

自衛隊ブースでは、広報官による仕事内容や入隊方法などについての説明の他、制服試着も行った。興味を持った生徒は「話をきいて、自衛隊のイメージが変わりました。進路の一つに加えます」「様々な仕事があることを知りました」などと話した。

横浜中央募集案内所は「今後も高校での募集広報を通じて、自衛隊に対する関心の喚起と募集成果の拡充に努めていきたい」としている。

海上自衛隊医官が自衛隊の災害医療活動について講話を実施

横浜市磯子区「災害医療連絡会」で
意見交換する横須賀病院伊藤医官（右奥）講話に真剣に聞き入る
高校生とその父兄（左）

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、9月26日（火）、横浜市磯子区「災害医療連絡会」で実施された自衛隊横須賀病院に勤務する伊藤医官の講話を支援した。

本会は、医療機関や行政機関などが参加し、相互の連携を深めるため実施されており、今回は磯子区の依頼により「災害現場における自衛隊の医療活動等の状況」をテーマに講話が行われた。

伊藤医官は、自己紹介の後、地震や台風などによる様々な災害時の医療について自身の経験から、救難所の構成や避難所の巡回診療、災害派遣の原則などについて話し、参加者から災害医療体制に関して質問が出るなど、活発に意見交換が行われ、会場は大いに盛り上がった。

また、聴講を希望し参加した高校生とその父兄ら5名は、講話と意見のやり取りに興味津々の様子で聞き入っていた。生徒は「災害現場での自衛隊の医療活動がイメージできた」「貴重な話を聞いた」などと感想を述べていた。

上大岡募集案内所は「今後も様々な機会を通じて、自衛隊に対する理解深化を図るとともに、防衛基盤の拡充に努めていきたい」としている。